

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-528077 (P2011-528077A)
 【公表日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-045
 【出願番号】特願 2011-517722 (P2011-517722)
 【国際特許分類】

F 0 3 D 1/04 (2006.01)

B 6 4 C 3/10 (2006.01)

【 F I 】

F 0 3 D 1/04 B

B 6 4 C 3/10

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 7 月 13 日 (2012.7.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 つ又はそれよりも多くのインペラと、

1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置と、

1 つ又はそれよりも多くの集風翼とを含み、

該 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、静空気圧の降下を誘発するために、使用中に風の流れと反応するよう、前記 1 つ又はそれよりも多くのインペラ及び前記 1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置に関して支持され、次に、前記静空気圧の降下は、前記 1 つ又はそれよりも多くのインペラ及び前記 1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置を駆動するために使用され、前記 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、ロガロ翼を含み、

各ロガロ翼は、前端と後縁とを有する空力シートによって形成され、前記後縁は、前記前縁から離れる方向に増大する凹面を有するシートを形成するよう湾曲され、

各ロガロ翼は、前記空力シートの両側に前記前縁と前記後縁との間に延在する屈曲縁部を含み、該屈曲縁部は、一体型リブを含み、

隣接するロガロ翼は、前記屈曲縁部のそれぞれに沿って一体的に接続され、ロガロ翼の配列を形成する、

風力エネルギー抽出装置。

【請求項 2】

前記隣接するロガロ翼のそれぞれの屈曲縁部は、共にリベット締めされる、請求項 1 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 3】

前記ロガロ翼の配列のそれぞれは、支持フィンの間のケーブルによって支持される、請求項 1 又は 2 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 4】

前記ケーブルは、更に、少なくとも、第一支持ケーブルと、第二支持ケーブルとを含み、前記第一支持ケーブルは、前記相互接続されるロガロ翼の配列の前記前縁のそれぞれの上の中空端部を通じて配置され、前記第二支持ケーブルは、前記 2 つの折畳み縁部のそれぞれの上のループを通じて配置される、請求項 3 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 5】

各ロガロ翼の前記空力シートは、金属シートを含む、請求項 1 乃至 4 のうちのいずれか 1 項に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 6】

各ロガロ翼の前記金属シートは、アルミニウムシートを含む、請求項 5 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 7】

前記ロガロ翼の各配列は、直線配列である、請求項 1 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 8】

前記 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、少なくとも 2 つの集風翼を含み、各集風翼は、前記ロガロ翼の直線配列であり、前記 1 つ又はそれよりも多くのインペラの両側に配置される、請求項 1 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 9】

1 つ又はそれよりも多くのインペラと、

1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置と、

1 つ又はそれよりも多くの集風翼とを含み、

該 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、静空気圧の降下を誘発するために、使用中に風の流れと反応するよう、前記 1 つ又はそれよりも多くのインペラ及び前記 1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置に関して支持され、次に、前記静空気圧の降下は、前記 1 つ又はそれよりも多くのインペラ及び前記 1 つ又はそれよりも多くの電力変換装置を駆動するために使用され、前記 1 つ又はそれよりも多くの集風翼の各々は、ロガロ翼の配列を含み、

前記ロガロ翼の配列の各ロガロ翼は、前縁と後縁とを有する空力シートによって形成され、前記後縁は、前記前縁から離れる方向に増大する凹面を有するシートを形成するよう湾曲され、

前記ロガロ翼の配列の各ロガロ翼は、前記空力シートの両側に前記前縁と前記後縁との間に延在する側縁部を含み、

前記ロガロ翼の各配列における隣接するロガロ翼は、前記側縁部のそれぞれに沿って一体的に接続され、ロガロ翼の直線配列を形成する、

風力エネルギー抽出装置。

【請求項 10】

2 つ又はそれよりも多くのインペラ及び 2 つ又はそれよりも多くの電力変換装置があり、前記 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、静空気圧の降下を誘発するために、使用中に風の流れと反応し、次に、前記静空気圧の降下は、前記 2 つ又はそれよりも多くのインペラ及び前記 2 つ又はそれよりも多くの電力変換装置を駆動するために使用される、請求項 9 に記載の風力エネルギー抽出装置。

【請求項 11】

前記 1 つ又はそれよりも多くの集風翼は、少なくとも 2 つの集風翼を含み、各集風翼は、前記ロガロ翼の直線配列であり、前記 2 つ又はそれよりも多くのインペラの両側に配置される、請求項 10 に記載の風力エネルギー抽出装置。